

学生団体 Jyoto's

吉田祐理（人間形成系3回生）

キーワード：SDGs, グローカル, 学習支援

1. 団体概要

学生団体 Jyoto's は、外国にルーツを持つ子どもたちの学習支援を目的として、2022年に発足した団体である。

私たち Jyoto's の主な活動内容は①学習教室への参加、②イベントの参加・新規企画の二つである。毎週土曜日に城東町補習教室にボランティアとして参加し、外国にルーツを持つ小学生から中学生までの子どもたちを対象とした学習支援を行っている。学習教室の開催に加えてイベントの開催も行っており、昨年は夏休みの宿題教室、秋祭りやクリスマス会などを実施した。現在、10名の学生が所属している。

2. 活動を通して学んだこと

今回の活動を通じて、外国にルーツを持つ子どもたちも日本人の子どもたちと同じようにイベントを純粋に楽しんでおり、国籍や文化の違いがあっても、子どもたちの喜びや楽しむ姿に何ら変わりはないことを実感した。この気づきは、多様な背景を持つ子どもたちが同じ空間で共に楽しむことができるイベントの重要性を再認識させてくれた。

また、どんなイベントを企画すれば子どもたちにとってより楽しいものになるのかを考える中で、常に「子どもたち目線」を意識することの大切さを学んだ。子どもたちが興味を持ち、自然と参加したくなるような内容を考える過程では、私たち自身も創造力を働かせ、工夫を凝らす楽しさを味わうことができた。

これからも様々な行事や普段の補習教室を通じてさらに多くの子どもたちにとって楽しく有意義な時間を提供できるよう努めていきたいと考える。

3. 活動事例

活動事例として、夏休み期間中に開催した宿題教室では、学習支援のほかにスライム作りの実験を行

った。スライム作りは初めて体験する子どもたちが多く、実験中は驚きや喜びの声が飛び交い、とても楽しんでいる様子が印象的だった。私たちの予想以上に子どもたちが夢中になり、笑顔あふれる時間を過ごせたことが大きな成果となった。来年は、さらに興味を引き出す新しい実験内容を企画し、より充実した時間を提供したいと考えている。

また秋には、姫コアネット5の方々が主催する「多文化で秋祭り～お国自慢でエンジョイ！～」(以下秋祭り)に参加した。特に印象的だったのは、城東小学校に通う子どもたちが披露してくれたムーランである。普段なかなか見ることのない演目を間近で鑑賞できたことは、私たちにとっても貴重な体験となった。

また、子どもたちのお母さんたちが、それぞれの



写真1 秋祭りでの様子(2024年11月)



写真2 学習教室での活動の様子(2024年4月)



写真3 夏休みの宿題教室での実験の様子
(2024年8月)

出身国の料理を振る舞ってくださり、多様な文化の味を楽しむことができた。さらに、「城東縁日」と称して日本ならではの屋台が並ぶ中で、私たち Jyoto's もスーパーボールすくいの屋台を出店した。たくさん子どもたちが楽しんでくれる様子を見て、やりがいを感じた。

これらの活動を通して、子どもたちと直接触れ合いながら楽しさを共有する喜びや、イベントを通じて多文化共生の意義を再確認することができた。

4. 今後の展望

今後の活動においては、これまでの経験を活かし、さらなる成長と発展を目指していきたいと考えている。まず、今年度も昨年度に引き続き、キッザニアでの就業体験研修を実施する予定である。



写真4 秋祭りでの子供達のムーランの様子
(2024年11月)

この研修は子どもたちにとって貴重な学びの機会となるだけでなく、私たちの活動の重要な柱でもあるため、計画段階から丁寧に準備を進めていきたい。また、新しいイベントの企画にも力を入れ、多様な活動を展開していきたいと考えている。特に、子どもたちにとって楽しさや学びがあるだけでなく、多文化共生の意義を伝えられる内容を模索し、地域や参加者にとって価値のあるイベントを実現したい。

さらに、現在1学年5人以下という少人数で活動していることから、メンバーの拡大も重要な課題である。活動の幅を広げるためにも、SNSでの投稿を増やすなど広報活動に力を入れ、私たちの活動をより多くの人に知ってもらえるよう努めたい。

今後とも学生だからできることを実施することを目標に子どもたちの学習支援、楽しい学びの継続のために活動を行いたい。